

(1)

会 報

緑のまち

第13号 平成6年3月30日

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191 東京都日野市神明1-12-1 日野市役所内
電話 0425(85)1111 内線265~7



(写真は百草台自然公園)

昭和57年7月開園、多摩随一、眺望の良い公園です。園内の自然林の芽吹きはすばらしく、七生丘陵散策路の中継点になっています。

緑の丘、花の広場、野草、薬草、湿生植物の5つの顔をもつゾーンからなり、展望台や池のある自然公園です。

住みよい街づくりに

ご協力を

理事長 中村 敏夫

私が緑化協会の理事を引き受け足掛け五年になります。以前から緑に関心を持ち、関わってきましたが、実際に緑化を推進することは大変なことだと痛感しております。

幸い、当協会も市の関係者や市民の皆さんのご理解、ご協力に支えられ、どうにか軌道にのることができました。

日野市は他市に比べ緑は多く、この緑を維持すると同時に、少しでも増やすよう努力しようではありませんか。

一人が一本の緑を育てると市内全体では膨大な数になります。一本の木は点にすぎませんが、点が集まれば林や森になります。

生理的にも、物理的にも緑の役割は多く、何よりも人の心をなごませてくれます。

また、ヒートアイランド(種々の影響で気温が上がる)現象を取り除く働きは大きく、快適な生活を送るために、緑は不可欠のものです。

私達は普段なにげなく緑に接しておりますが、この街を愛すればこそ潤いある街づくりを進め、二十一世紀に引き継ぎたいものです。

昨年は、異状気象(低温長雨)により、私たち花を育て管理する者にとって、最悪の年でした。

今年こそ、天候に恵まれ、新鮮で魅力ある事業を推進するため、多方面から検討の結果、以下4つの柱を基に実施することになりました。

平成六年度 事業計画

二、緑化推進に関する事業活動

この事業の中では、公共施設の緑化を推進すべく、入学入園記念樹の植樹、公共施設設置プラント(駅前、生活保健センター等)への花の植付けのほか、みどりの健康相談、花の里親里子運動、樹名板の取付け、炭焼き事業などを実施します。

三、緑化推進に関する調査研究

「緑の意識調査」の分析結果を事業計画に取り入れるとともに、ワイルド・フラワー(草花の種子)による、未利用地の美化推進を試みます。

四、日野市からの受託事業

市の花である「菊」の配布は、一人4本を基準に多くの方々に楽しんでもらえるよう努力しております。

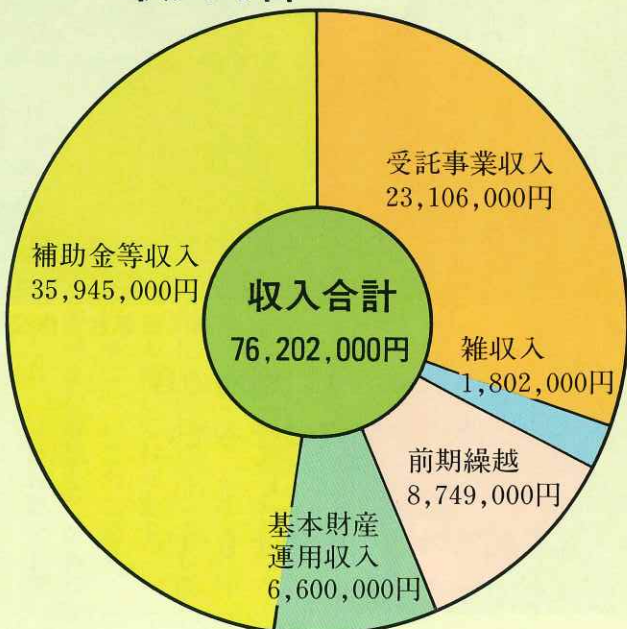
花卉植付事業については、大小41ヶ所の花壇に、四季折々の花を提供し、計画的な維持管理をしていきます。また、児童公園の清掃・除草についても、自治会、老人会等の協力を得て維持管理に努め、「愛護会」がひとつでも増えるよう推進を図ります。

一、緑化推進に関する普及啓発事業

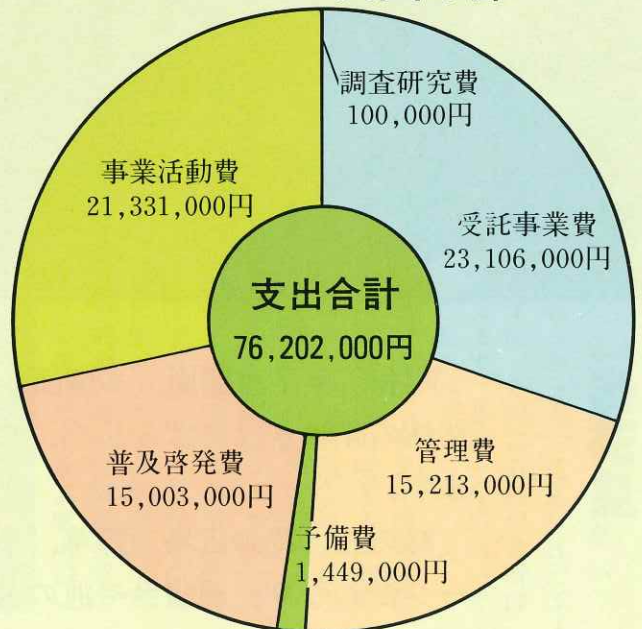
4月、11月の「緑化月間」には、数々の事業を実施します。春は苗木、秋には球根の無料配布を始め、園芸講習会、植物写真展、地域清掃、自然観察会等のイベントがあります。特に4月29日のみどりの日には、苗木等の配布にあわせて、市民の方々が持ち寄った球根、根株の交換会も実施します。その他会報の発行、緑の羽根共同募金運動等を行います。

平成六年度 収支予算

収入の部



支出の部



秋の緑化月間行事に参加して

緑の写真展に思う

都心から僅か一時間そこそこというのに日野にはまだまだ緑が多く、人と自然のかかわり合える場所が数多くある。緑に憩いを求める人々にとって、いつでも気軽に自然とふれ合う事が出来るのはとても嬉しいことである。

しかし日野も広く、まだ知らない場所もたくさんある。春秋二回の恒例の緑の写真展は、まだ知らない日野の自然の姿を知ることにも良い機会であり楽しみである。いつも見なれている所でも季節により、天候や時間帯により又、眺める位置によっても全く違った姿を見せてくれて、「あ、//こういう撮り方もあるのか」と感嘆する。

まだ見たことのない場所での美しい風景等には、心から素敵だなあ//と思ひ、すぐにも行って見たくなる。



緑濃い森や林の小径をきれいな空気を腹一ぱいに吸いながら、楽しく語らい通る親子づれ、公園の芝生でよちよち歩きのお子さんをのんびり見守っている若いお母さん方、堤防の片すみや道ばたにひっそりと咲く小さな草花、きれいな小川で嬉々として戯れる子供達等々、いつまでも日野に残しておきたい平和な姿である。

栄町・田口 太糸

地域清掃を終えて

やめよう
ゴミの投げ捨て!

私たちは、新坂下公園から始めました。公園では、ちょうど落ち葉の舞散る時期だったこともあって、落ち葉でゴミもまわっているといった様子でしたが、集めて見れば、お弁当のゴミやあき缶、ティッシュ、おかしの袋、タバコの吸い殻さまざまなゴミが大きな袋にいっぱいになりました。公園にはゴミ箱が3ヶ所にあるのにもかかわらず、あちらこちらに落ちていたゴミ。小さいから、めんどろだから、誰か拾ってくれるのではという事はやめたいですね。今は一昔前と違い、あちこちに、ダストボックスがあります。なかつたら、自分のポケットに入れるといった習慣が身につ

くとよいですね。何げなくポイとしてしまうゴミも拾って歩けばキレイになる。キレイは気持ちいいです。だから、ちらかさなという事になればいいです。落ちていっていると気になるようになれば、捨てるということはいなくなると思います。皆で、話しながら楽しく拾って歩きました。今回、親子でとても良い体験をしました。そして最後には、チューリップの球根までいただいて子供は大喜び。今度はお花がキレイに咲くまで育てる体験をすることになります。そして、来年もすすんで参加したいと思います。

新坂下・野沢 淑枝

「初冬のある晴れた日曜日、地面一杯の木の葉を踏む音は別天地。」

この日、私は南平丘陵公園で行われた親子炭焼き教室に参加しました。協会、講師、役員の方々の努力により、多方面にとってもよい勉強になり感謝しております。

炭は昔と違って燃料として家庭で使われることはほとんどなくなりまし。しかし、オレンジ色の炭火は、

炭焼き教室

が増えてきたそうです。また水の浄化、脱臭、土質改善等さまざまな効用があり、副産物の木酢液を含め、炭の良さが見直されてきたことは、昔

々、炭焼き経験者である私にとって、大変うれしいこととです。

六十五才の今、日野市の一隅で自然を愛しむ多くの方々と共に短時間を過ごした事に心からありがたうの念で一杯です。

講義のあと、みんなで落ち葉で焼いたおいしいさつまいもに舌つづみをうち、見知らぬ方々との再会を念じ、お別れしました。

加藤 正七

月間行事が始まります

～5月22日

くらしに花とうるおいを!

日野市
主催 (財)日野市環境緑化協会

暖かな日射しを受けて、草木も芽吹くこの季節、人間だけでなく、虫や小鳥、動物まで活動的になります。
4月は「春の緑化月間」です。環境緑化協会では、今年も市民参加による多彩な行事を開催します。初めての方もぜひご参加下さい。すばらしい春に出会えると思います。

家庭緑化の日(4月3日)

7会場で苗木の無料配布

※雨天実施

今回配布の苗木は、紅花トキワマンサクとキ(黄)レンゲツツジの2種類です。いずれか1本を先着順に配布します。どちらも鉢植えにすれば、ベランダでも育てられます。



▲紅花トキワマンサク



▼黄レンゲツツジ

◎苗木の無料配布

▽配布日時 4月3日(日)午前10時から各会場で。日野中央公園のみ午後1時から配布
▽会場・配布数 日野中央公園(午前千人・午後700人)、東京南農業協同組合七生支店(午前のみ500人)、旭が丘中央公園・平山地区センター・市民の森スポーツ公園・日野第八小学校・方願寺第八公園(東部会館横)(午前のみ200人)
◎各会場で緑の羽根街頭募金も行いますのでご協力下さい。

◎風船の配布

幼児を対象に先着200人(水に溶ける無公害風船のため、雨天中止)

◎園芸相談

毎月実施している「花とみどりの健康相談」を当日会場で行います。園芸に関するご質問がありましたら、ぜひ、この機会にご相談下さい。
▽時間 午前10時～午後3時

◎花・肥料等の即売

ベランダや庭に出て、土いじりをしてみませんか。東京南農業協同組合、日野市花卉生産組合が苗木、花鉢、肥料、園芸用土の即売会を行います。また、市政図書室では「新日野の植物ガイドブック」や市史も販売します。

園芸講習会

1、バラの栽培(4月15日)

花の美しさでは定評のあるバラですが、管理が難しくくと、敬遠される方も多いようです。

今回は初めて栽培される方のために、「バラを美しく咲かせる方法」と題して、基本的なことから応用技術まで、わかりやすく解説、ご指導いたします。

▽日時 4月15日(金)午後2時～4時

▽会場 中央公民館

▽費用 材料費 千円

▽定員 50人 ※申込み多数の場合は抽選

▽申込み 4月2日(消印有効)までに往復ハガキで。住所・氏名・電話番号のほかバラの講習会希望と明記のうえ、(財)日野市環境緑化協会へ

(〒191日野市神明1-12-1 日野市役所内)



2、洋ラン栽培(5月10日)

昨年、大変人気の高かったカトレアの講習会を今年も行います。

華麗で気品高いカトレアも温室がなければ育てられないと思っけませんか。

最近、品種改良が進んだため、種類も豊富になり、育てやすいものも多く出回っております。

ぜひ、栽培のコツを習得し美しい花を咲かせて下さい。



▽日時 5月10日(火)午後2時～4時

▽会場 中央公民館

▽費用 材料費 千円

▽定員 50人 ※申込み多数の場合は抽選(昨年、受講された方はご遠慮下さい)

▽申込み 4月20日(消印有効)までに往復ハガキで。住所・氏名・電話番号のほか「カトレア」講習会希望と明記のうえ、(財)日野市環境緑化協会へ

(〒191日野市神明1-12-1 日野市役所内)

1 日野市役所内)

春です！今年も緑化

期間 = 平成6年4月1日

テーマ：まちに緑と清流を！



盆栽山野草展

盆器という限られた空間の中で、「自然以上に自然な」情景を再現するという盆栽は、一朝一夕に完成するものではありません。

愛好家の皆様の丹精込めた作品を、ぜひ、ご覧下さい。

▽日時 4月18日(月)～4月20日(水)午前9時～午後4時(20日は午後3時まで)

▽会場 市役所1階10会議室

地域緑化・清掃の日

4月24日(日)に自治会、老人会、子供会等の皆様のご協力により、散策路・公園・緑地の一斉清掃を行います。

空カン、空ビンの持ち帰り、犬の糞の始末等、一人一人の心配りが「美しい街・日野」につながります。

清掃して下さる方の身になって、少しでも街を汚さぬよう、みんなで小さな努力をしてみませんか。

▽日時 4月24日(日)午前9時～正午

当日は自治会、老人会、子供会等の指示に従って下さい。

※参加者(一世帯一袋)には、花の種を差し上げます。



みどりの写真展

恒例になりました写真展も回を追うごとにその数を増し、自然を愛する人々の心を写し伝え、広がりつつあります。

ぜひ、ゆっくりご覧下さい。
▽テーマ 「日野市内の春の植物」

▽展示 市役所1階・市民ホール

▽期間 4月25日(月)～5月20日(金)(土・日曜日、祝日を除く)

◆作品募集

冷たい風雪にじつと堪えてきた木々も、今、芽吹きの時を迎え、新緑に輝いています。

春を感じ、ひととき美しい自然と躍動的な人々、生活に根づく緑など、あなたの力作をお待ちしております。

▽搬入 4月15日までに(財)日野市環境緑化協会事務局へ

※詳細は募集要項をご覧下さい。

みどりの日(4月29日)

「緑の大切さを再認識しよう」年号が平成に変わり、みどりの日が生まれました。

環境破壊と共に緑の大切さがクローズアップされ、この日を記念して全国で色々な行事が行われます。当協会では苗木の無料配布を行います。

▽日時 4月29日(祝)午前10時から(雨天実施)

▽会場 日野中央公園

▽内容 ①苗木等の無料配布(日陰ツツジ又はミニバラいづれか1種類) 午前10時と午後1時より各先着千人

②球根・根株の交換会 ③風船の配布(幼児のみ先着200人)

④草花・庭木・肥料の即売

⑤図書・市史などの販売
どうぞ、ご家族おそろいでご参加下さい。



自然観察会(5月22日)

今回も少し遠出をして、府中市郷土の森を尋ねてみます。

広い園内には、市内から移築した復元建築物や、梅園、滝、池などのほか、博物館、プラネタリウムもあり、府中の自然と歴史を凝縮した公園です。

▽日時 5月22日(日)午前9時

※雨天中止

▽集合 京王線中原駅改札口

▽解散 同園内で正午

▽定員 先着50人

▽申込み 事前に電話受付(財)日野市環境緑化協会 85-1111・内線265(入園料及び博物館入館料は協会で負担)

生け垣講習会(4月15日)

生け垣の良し悪しはなんと言っても手入れです。手入れをすると見違えるように立派な生け垣になります。

講習会に参加しその技術を会得し、実践しましょう。

▽日時 4月15日(金)午前10時～正午

▽場所 緑化センター(日野中央公園南側)

▽内容 生け垣の作り方と手入れについて。実技指導を行いながら解説いたします。

▽申込み 先着40人、電話で公園緑政課へ

☎ 85-1111・内線361

公園の緑

日野市立程久保小学校

石澤 香奈子

私は小さいころから公園で遊ぶのが大好きでした。しかも木や花や草のある公園です。私の家の近くに小さな公園があります。私は幼稚園の時や小学校に入学してからもずっと、この公園で遊んで来ました。公園には木が二十本ぐらいあって、花もいっぱいさいいて草もたくさんはえています。春になると、いっせいに花がさき、ちようちようが出てきます。この時期になると公園はともきれいななります。夏は、せみがいっせいになきだし、虫がたくさん出てきます。秋は木の葉が色をかえます。冬に近づくと花もさき終わります。そして、だんだん葉も落ちていきます。こんないろいろなことを毎年おなじようにくりかえすのは自然の緑だけだと思います。でもこのごろ、カブトムシやクワガタをあまり見かけません。このあいだ、そういう虫がたくさんいた木が切られてしまいました。前はたくさんいた虫たちがとても少なくなっているのはとても残念です。

守る緑

日野市立平山小学校

鈴木 瑞穂

夏、晴れていて、すこし風のある日の午後二時ごろは、緑が一年中でいちばん綺麗に見える時だと思う。葉に太陽の光が反射して光っている。枝と枝、葉と葉のこすり合う音が聞こえる。そんな部屋で壁に寄りかかり、ずっと緑を感じていたい、思うことがある。



緑は、不思議な力を持っている。

日野市は緑がとても多いのだから、これからはこの緑を減らすのではなく増やさなければならぬと思います。そのために私たちは花の種や果物の種を公園に植えました。近くに団地があるのでドングリを取りに行つてドングリに顔を書いたりして植えました。公園は緑があるからいいのだと思います。もし、土がコンクリートだったら、ころんだ時大けがをするかもしれせん。けがをしたらそれをなおす薬草を作ります。これも草がなかったらできません。それに木がなかったら、きれいな花も見られないし、木にのぼつて遊べません。やっぱり公園には自然が大切なのです。このような緑と自然の多い公園は日野市にはたくさんあります。このように緑に囲まれた日野市はとても住みやすいと思います。こんな大切な緑をこれからも守つて残して緑の多い日野市にしていきたいです。

いる。酸素をつくるだけではない。なにか、生気を与えてくれるというか、何か例えられない、他にはない「力」があるのだ。今、言っている緑というのは、色ではない。一つの生き物の事だ。素晴らしい生き物の事だ。見ているだけで気分が良くなる。音を聞くだけで落ちつく「力」を持つ、生き物だ。

その緑が今、減り続けている。なくなつたつてどうでも良いものではない。だから、今、緑を少しでも減らすまいとしている。慌てて、いろいろな活動をしているのだ。「慌てて？」そうだ、慌てているのだ。ギリギリになるまで気づかず、気づいたとしても、少人数だったからだろう。

何故だ？考えてみれば最初から目に見えていたことではないか。物には限りがあるのだ。増やそうとはせずに大量に減らしていけば、すぐに底がつくのだ。何故そんな単純なことに気がつかなかつたのだろう。

緑の街づくり

日野市立三沢台小学校

長嶺 由衣子

だが、今さらそんなことを言つたつて何も始まらない。一生懸命緑を増やそう。緑の減らす量を少なくし、増やす量を多くすれば、緑がこれ以上少なくならないのだ。だが、そううまくいくだろうか、などという不安もあるが、とにかく、今、自分にできることは、「減らさずに増やす」をいつも心においておくことだと思ふ。

私は二年生の頃、この日野市に引越してきた。引越した当時は全く気付かなかつたが、よくよく考えてみると緑が多いことに気付いた。私はなぜ同じ東京なのにこんなに違いがあるのかと思ひ、それが知りたくなつた。好都合なことにはちようど社会科で日野市の勉強をすることになった。先生にいただいた本にはこう書いてあつた。

『みなさんも日野市民として立派な街を作り出す力となつて』

私達から

の提案

市内小学校6年生を対象に、緑についての作文を募集いたしましたところ589編が集まりました。この中より、選考委員の先生方に、10編を選んでいただき、5編は会報12号（昨秋発行）に掲載し、今回5編を紹介いたします。すなおに物を見、感じる心には未来があります。

ていきましよう。』

多分、日野市民はこの言葉にもとづいて自然を保護してきたのでしよう。私はだんだん興味心がわいてきて、(じゃあ、どのような工夫をし、緑の街づくりをしてきたのだろう)と考えた。

私達が住んでいる日野市はとてもしサイクルの多い街だそう。現に、私の学校、三沢台小学校ではアルミ缶のリサイクルやグリーンマークの回収をしている。市として取り組んでいることは、ゴミを正しく出すという運動や、牛乳パックから和紙をつくるつくり方などを教えたりする運動だ。しかし、これだけのリサイクルをやっても、やはり

緑は失われていくものなのだ。ここ七十年程の日野市の緑の減り方はとてもすごいものがあった。大正十四年、人口約八千七百人の時には、ほとんど日野市は広葉林・水田・畑・果樹園などだけでうめつくされてきたのに、今はめつきり減ってしまっている。

私達はリサイクル活動なんかもやっているけれど、また自然破壊につながることもやっているのかもしれない。時々よく車の通る道を歩いていると、車道添いに咲いている花々が排気ガスで真っ黒にな

っていることがある。そういうのを見ると本当に可哀想に思う。

私達市民はこういったことなどを見直して、これからの街づくりをしていかなければならないと思う。それから私はこの作文を書くにあたって一つのことを考えた。それは、これからは植物も地球にはぐくまれた一つ一つの命だということだ…。

緑のある美しい田

日野市立日野第八小学校

田中 保子

私は自分の住んでいる日野市の緑について調べてみました。

日野市の南側に広がる丘陵地には、クヌギ・コナラなどの林が残されて、この自然の地形を利用して、いくつもの自然公園や散策コースが造られています。緑は、平地や台地にもたくさんあります。七生丘陵・南平丘陵・多摩動物園・高幡不動・東豊田緑地保全域・東光寺緑地などの散歩のできる地域が、たくさんあります。百草園は梅の名所としても知られる美しい庭園です。春には、多摩動物公園・浅川やクリンセンター北側のていぼうなどに桜の花がと

てもきれいにさいています。

秋には、豊田駅北側・あさひが丘周辺でイチョウの並木の紅葉が見られます。また市内のあちこちで、トウカエデの紅葉も見られます。

日野市の昭和の初めころは、日野市全体が、水田、畑、林などでおおわれていましたが、昭和三十年代になると日野台地や多摩丘陵に、工場や団地などがつきつぎに建てられ、緑がどんどんへつてきました。

そこで日野市は、今ある緑を守り育てるために、さまざまな工夫と努力をしています。残り少なくなつた緑地を地主さんからかりたり、買い取りたりしています。また、大きな木や林を保存樹、保存樹林にきめ、手入れのひょうの一部を市が出しています。そのほかにも、姿を消してしまうおそれのある貴重な植物を守るために、自然公園や野草園を造り、大切に育てています。私は今ある緑がこれ以上減らないようにあき地には緑の多い公園をつくったり、それぞれの家のまわりに生けがきを作るようにすればいいと思います。日野市が、いつまでも緑のある美しい町であってほしいから、みんなも緑を大切にしていけばいいと思います。



もらつた花

日野市立日野第七小学校

真野 祐詩

春になってすぐの頃、ぼくは、いつも通る学校の帰り道、よその庭にぼくの心を打つキレイな花を見つけた。ぼくは、それがほしかったが、はずかしくて言いだせなくて、何日も見て通りすぎてしまった。

けれど勇気を出して親友の小林君をさそって、その家のおばさんにある日たのんでみた。ドキドキしながらぼくはチャイムを押しした。不思議そうな顔して出てきたおばさんに「庭の花を少しわけてください」とたのんだ。

するとおばさんは「ちよつとまって」と言つて、家の中から小さいスコップとビニール袋をいっぱいもつてきてくれた。

「きみ、どの花がほしいの」と聞かれ、「あの花」

とほしかった花を指さした。すると、

「あの花でいいの」とおばさんはいって、ビニール袋いっぱい花を入れてくれた。「来年もまたくれればあげるよ。お花が好きなの?うれしいわ」とおばさんはいきました。

ぼくは、花好きな人に悪い人はいないと思つた。家に帰つてさっそくビニール袋から花を出してレンガでかだんを作つた。穴をほり、下にふよふよをして花をうえ、水もあげた。この花はピオラというそうだ。一つではさみしいのでうちの庭にさいているスミレや大イヌノフグリなどと一緒にうえてあげた。

お母さんがもつて帰つた花を見て、「まあ、よくずうずうしくもらつてきたわね。うれしいけど…」と言つた。

「ゆうしのおこづかいでお花を買つてお礼をしたら」とお母が言うので、ぼくは白とむらさきの花を花屋で買ってお礼をした。

「まあ、お礼なんていいのに」と喜んでくれた。やつぱりいい人だなと思つた。

来年の春はぼくの作つたかだんが花で満開になると、期待している。

地域の児童公園、広場は地域の空間地、避難場所として大きな財産です。
 児童公園のある自治会、老人会、子供会の皆さん、ご協力をお願いします。

旭が丘南公園

つばき学園施設長 松本一男

私達の学園は精神薄弱者通所の授産施設です。作業訓練の一環として公園清掃を平成5年度からしております。

仕事をする者の中には、室内作業は苦手でも、屋外作業は得意だと一生懸命にやる者もあり、週1回の清掃が楽しめます。

おもに午前中作業を行います。空気が澄み外は気持ちよくみな元気です。

今後も長く続けさせていたいただきたいと思っております。



地域の公園は

公園清掃をはじめ3年になります。この公園は小さく住宅の中にある庭のような公園です。公園清掃をして感じることは、公園はみんなのもの、使ったオモチャ等の整理はきちんとしてほしいですね。最近では、近所でも疎遠になりがちの方が多くいます。が、私達はコミュニケーションの場をかねて、楽しく5名で実施しています。

地域の手で

うえのまち公園

代表者 中村ヨネ子



「緑の羽根」募金運動始まる

一人でも多くの方のご協力を!

～4月1日～5月31日まで～

毎年、多くの方々(市民、会社関係、自治会、老人会、学校関係など)にご協力をいただいております。緑の羽根募金運動が始まります。

緑の羽根募金は昭和27年から始まり、皆様方のご好意により、着実に伸びていることは言うまでもありません。この募金は、60%以上が市に還元され、公園、緑地の植樹に、また、学校、社会福祉施設の緑化などに役立っております。

緑を大切にする環境問題は日本だけでなく、世界的な運動に移行しております。

かけがえのない地球を一人一人の心掛けで大切に、21世紀に引き継ぎたいものです。

緑豊かな日野市をつくることは皆さんの願いです。この趣旨をご理解下さり、募金にご協力下さい。

花とみどりの健康相談

協会では、4月より「花とみどりの健康相談」を左記日程で行います。

花卉、庭木、菊に分け、それぞれの専門家が皆様の質問に懇切丁寧にお答えします。

中央公園での散策を兼ね、お気軽にお出掛け下さい。

4月3日(日) 5月7日(日) 6月4日(日) 7月2日(日)
 8月6日(日) 9月3日(日) 10月1日(日)

4月3日(日)は家庭緑化の日の行事にあわせ、日野中央公園内で、午前10時～午後3時まで行います。

5月～10月までの第一土曜日は、日野中央公園内(雨天の場合は緑化センター)で、午前9時～午前11時40分まで受け付けます。

「お花見」

心うきうき、花見と言えばまず桜、市内にも桜の名所はあります。是非一度出向いてみて下さい。

- ①クリーンセンター根川堤②向川原緑道浅川堤③多摩動物園通り④中央公園⑤旭が丘中央公園⑥旭が丘グリーンベルト⑦さくら町(コニカ株)周辺⑧平山橋西側堤防沿い⑨神明上グリーンベルト⑩平山城址公園⑪大久保公園⑫黒川清流公園⑬矢の山公園⑭多摩テック⑮成就院手前多摩川沿い



▽編集のあとに△

当協会では、4月と11月の緑化月間にいろいろな催しを実施しております。

行事についてのご意見、ご要望また感想などがありましたら、ぜひお寄せ下さい。